

男女がともに 輝くために

共に輝くみほの会
—美浦村女性行政推進協議会—

問合せ 企画財政課
☎029-885-0340(内)208

『みほちゃん広場』

での活動

中山 万律子



7月29日、夏休みの子ども応援プロジェクト「みほちゃん広場」にて、ボランティア活動に参加しました。企画内容は「美浦かるたで遊ぼう」をテーマに、参加する小学生によるかるた大会を行いました。夏休みに入り元気いっぱいの子ども達。かるた大会への意気込みも熱くとても盛り上がりしました。

まず学年別での三回戦の予選会を経て、最後に勝ち進んだ10人による決勝戦を行いました。予選会も決勝戦も白熱していて、みんな真剣に絵札を見つめていたのが印象的です。なんと一年生の男の子も決勝戦に残り大健闘。年齢を問わず楽しむことができるのもかるたの醍醐味だと感じました。札をたくさん取った上位の子には手作りのメダルを贈呈しました。メダルをもらい嬉しいが、札を思うように取れずに悔しがる子と結果は様々でしたが、もう一回やりたいという感想を多く聞きました。そして、かるたを通じて勝敗の楽しみだけでなく、まだ知らなかった美浦村の魅力を発見してもらいました。

美浦かるた

『美浦かるた』とは、

あ

甘酸っぱい
安中いちご
食べたいな

い

今もある
開拓魂
土屋郷

というように、美浦村の歴史、産業、祭事等を主体とした札になっており、読み札は美浦村小中学校の児童生徒、俳句会等の方々、絵札は絵手紙同好会の皆さまの協力により5年がかりで平成26年に完成したものです。今回は小学生に挑戦してもらいましたが、大人も一緒に楽しむことができ、様々な角度から美浦村を知ることが出来ます。今年度は美浦村の各学校、幼稚園、保育所や各施設等にかるたを巡回し掲示します。また美浦村中央公民館図書室でも貸し出しが出来ますので、ぜひ手に取り楽しんでみてください。

一緒に活動しませんか？

美浦村女性行政推進協議会（共に輝くみほの会）では、活動を共にできる会員を男女問わず随時募集しています。難しいことを話しているのではなく、身近なことを取り上げていきます。どうぞお気軽にお声かけください。

■問合せ先 企画財政課

みほ文芸

正調俳諧 日和吟社 字結び「八坂」一字以上詠み込み

卒寿坂越えまだまだ元氣白寿峠は謡で越す

お前居りやこそ登ってこれた坂も下りはおれが杖

自分探しの人生続く未だ迷いの八十路坂

たつた一度の見合いで添うて悔いはなかった八十路

八尾坂道はんばり灯り風の盆唄夜もすがら

一期一会の人生行路生きた証の八十路坂

ガタがきた身にやうなぎも無駄か八十路間近の土用の日

笛や太鼓の八坂の祭り踊り出しそな御神木

ひとり踏んばり辛苦の坂を越えて守った吾子の笑顔

暦八月赤丸躍る盆の帰省を待ちわびて

八十路過ぎて悠々自適怖いものなど何もない

八十路元気で何より嬉し親に感謝と書く日記

八の数字は縁起がいいと祝い事にははずせないき

好きなものでも食べ過ぎだめよ体考え腹八分

趣味や奉仕で七十路の坂をまるい心で暮らす幸

暑い八月買ひ物涼み孫とスーパ一喫茶室

人の一生坂道続く登り下りが続いている

苦労続きの七坂八坂越えて極楽老い時間

暮れに亡くなり八月迎え子等が集って義父思う

八月の俳句（題 当季雑詠）

ふるふると揺れるゼリーに匙入れる

つづみ打つ所作も親しき大西瓜

JAL一機入道雲を廻りけり

炎天の縄文遺跡子等駆ける

孫の手や透き通るよな水飛翔

日のほてり残れるトマト貰ひけり

香煙が真青の空へ原爆忌

寝ていても耳に残りし蟬時雨

上出来と網戸張り替空あおぐ

辿り着く駒草の尾根雨止まず

梅雨明け水に溶け込む空の色

送り火に話かけつつ別れけり

- 篠原美千代
- 山崎笑子
- 関根秀子
- 飯塚筑風
- 門脇悠美
- 田島草実
- 高橋一步
- 塚本夏雲
- 長谷川悦子
- 石戸律華
- 小蘭江久美
- 小池きよし
- 木村幸子
- 伊藤葉子
- 山岡亜子
- 山崎泰弘
- 武田かずお
- 増尾青蓮
- 沼寄朋香
- （五十音順）
- 青野安佐子
- 石毛恵美子
- 市川紀行
- 海道民子
- 木澤はしめ
- 高柳幸子
- 田島早苗
- 中島輝子
- 長田敏笑
- 増尾尚子
- 松葉蝶駿
- 松葉よしる
- 松本秀子
- 宮崎きみ枝